



エコアクション21

認証番号 0007262

エコアクション21

環境経営レポート

令和6年度（令和5年11月～令和6年10月）

第 15 回



発行日：令和 7 年 1 月 27 日



株式会社 西 條 組

レポートの項目

1.	組織の概要	—	1.
2.	対象範囲	—	1.
3.	環境経営方針	—	2.
4.	実施体制と主な責任・権限	—	3.
5.	環境経営目標	—	4.
6.	環境経営計画	—	5.
7.	環境経営目標の実績（令和2年11月～令和3年10月）	—	6.
8.	環境経営計画の取組結果・評価及び次年度の取組内容	—	7.
9-1.	次年度の環境経営目標	—	8.
9-2.	次年度の環境経営計画	—	9.
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	—	10.
11.	代表者による全体の評価と見直し・指示	—	11.
12.	環境保全活動の紹介	—	12.

1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社 西 條 組
代表取締役 西 條 知之
- (2) 所在地及び連絡先(本社及び倉庫・資材置場)
〒771-1506
徳島県阿波市土成町土成字実安239
TEL : 088-695-3151
FAX : 088-695-4458
E-mail : saijodnr@fm.nmt.ne.jp
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者
責任者 : 西條 知之
担当者 : 西條 知之
- (4) 事業活動の内容
・徳島県知事許可(特-06)第1605号
土木工事業
とび・土工工事業
舗装工事業
水道施設工事業
- (5) 事業規模 (令和5年度)
年間工事高 25,234 千円 (令和5年11月～令和6年10月)
工事件数 14件
従業員数 6名
事務所延べ面積 61.14m²
倉庫 延べ面積 380.0m²
資材置場 面積 1316.7m²

2. 対象範囲

- ・全組織・全活動
- ・事業活動：建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
水道施設工事業)
工事内容に記しているが、製品及びサービスは活動に含む
- ・対象者
全従業員

3. 環境経営方針

株式会社 西條組は、公共工事を通じて地域貢献のため環境保全の実現、地域住民の方々とよりよい地域環境を目指す事を目標に掲げ、その一環として全従業員がEA21の活動に取り組むことにより環境負荷の低減に努力します。

行 動 方 針

当社は建設工事業における環境負荷を低減するために、次の行動方針に基づき、環境経営活動を推進して自然環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境保全の取組と継続的な自然負荷への削減を図ります。
2. 当社の事業活動に関連する法令、徳島県条例、阿波市条例、その他を遵守します。
3. 当社の事業活動に関連する環境影響において、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(総エネルギー量の削減)
- ② 水使用量の削減
- ③ 廃棄物の削減及び発生の抑制
- ④ 環境に配慮した施工の推進

4. 各従業員が自然環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営の継続的改善を推進します。

制定日 平成 22年 12月 27日

改定日 令和 3年 11月 1日

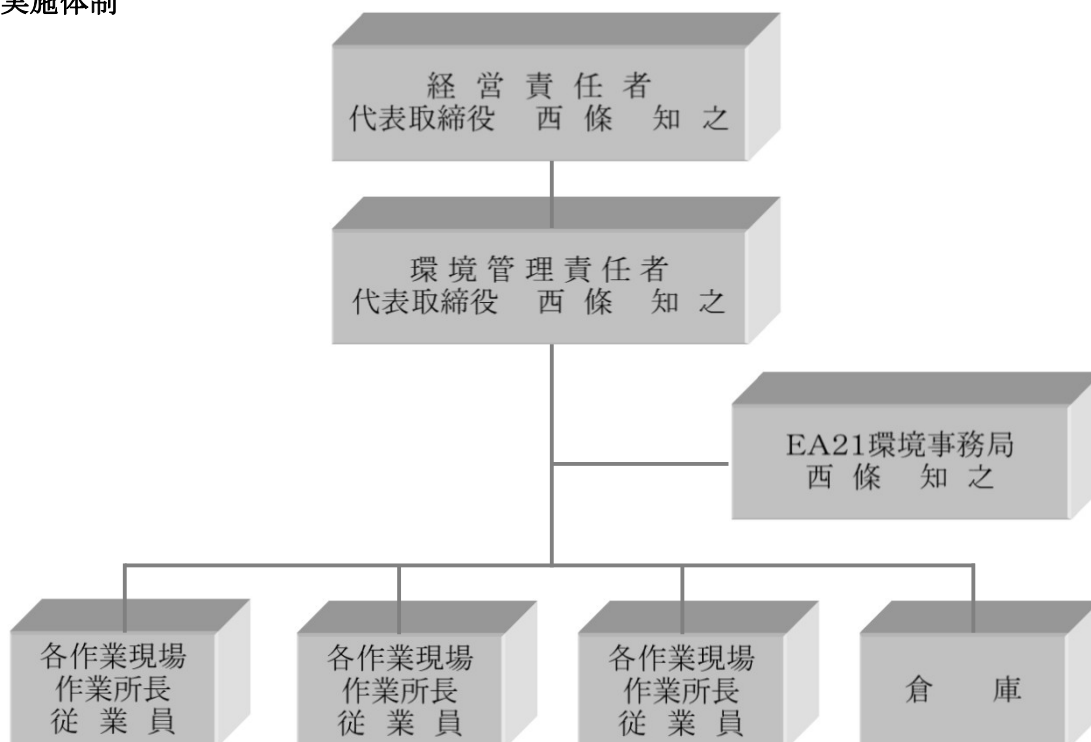


株式会社 西 條 組

代表取締役 西 條 知 之

4. 実施体制

● 実施体制



● 役割・責任・権限

職名	役割・責任・権限
経営責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人的、財政的資源の確保 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築及び実行管理 ・環境経営活動実施計画書の作成 ・環境経営活動の取組み結果を経営責任者へ報告 ・従業員に対する教育、訓練の実施 ・環境経営レポートの確認(計画、実施)
EA21環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境経営目標、環境経営実施計画書の作成 ・環境経営実施計画の実績集計 ・環境経営レポートの作成(計画、実施)
作業所長	<ul style="list-style-type: none"> ・各作業現場における環境経営システムの実施 ・各作業現場における環境経営方針の周知 ・各作業現場の従業員に対する教育訓練の実施 ・各作業現場における問題点の発見、是正予防措置 ・環境経営目標及び環境経営計画書の実施及び達成状況の報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・自主的、積極的に環境経営活動へ参加

5. 環境経営目標の策定

中長期目標

事務所・現場

項目	単位	令和3年度 基準値 (実績)	令和4年度 目標削減率 1%	令和5年度 目標削減率 2%	令和6年度 目標削減率 3%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	30,692	30,385	30,078	29,771
電力使用量	kWh	2,649	2,623	2,596	2,570
燃料使用量 ガソリン	L	2,839	2,811	2,782	2,754
燃料使用量 軽油	L	8,886	8,797	8,708	8,619
水使用量	m ³	142	141	139	138
一般廃棄物	t	0.092	0.091	0.090	0.089
産業廃棄物 処分量	t	185.91	184.05	182.19	180.33
産業廃棄物 リサイクル率	%	95.0	95.0	95.0	95.0
環境に配慮した施工	工事件数	—	100%	100%	100%

※ 化学物質の使用は有りません。 四国電力 令和3年度調整後排出係数 0.445(kg-CO2/kWh)

6. 環境経営計画

● 令和6年度 環境経営実施計画書(事務所・現場)

→ 実施期間

重要テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール										
			5年		令和6年								
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【環境経営目標】	・二酸化炭素排出量の削減	社長	→										
	・水使用量の削減		→										
	・廃棄物の削減及び発生の抑制		→										
	・グリーン購入の推進		→										
	・環境に配慮した施工の推進		→										
【環境経営計画】	・夏場の冷房温度を27℃程度に設定する	事務所 現場							→				
①電力使用量の削減	・冬場の暖房温度を22℃程度に設定する		→										
	・不使用OA機器の電源オフ		→										
	・休憩時間の消灯の励行		→										
②燃料使用量の削減	・エコドライブの励行	事務所 現場	→										
	・アイドリングストップの励行		→										
	・車両・重機の定期点検		→										
	・エコモード使用、アクセル開度70%まで		→										
③水使用量の削減	・こまめに蛇口をしめる	事務所 現場	→										
	・蛇口に節水表示のマーク		→										
	・洗車時には、節水に心がける		→										
廃棄物の削減及び発生の抑制	④一般廃棄物排出量の削減	・ゴミ箱を設置して分別の徹底を行う	事務所	→									
		・コピー用紙の裏紙を使用する		→									
	⑤産業廃棄物のリサイクルの推進	・建設副産物の再生処理を推進する	現場	→									
		・再生材の分別徹底を行う		→									
	⑥環境に配慮した施工を行う(ロスを削減する)	・精度の高い事前計画を行う	現場	→									
・朝礼時に十分なコミュニケーションを交わす		→											

7. 環境経営目標の実績 令和6年度(令和5年11月～令和6年10月)

事務所・現場

項目	単位	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	29,771	20,326	146.5%	○
電力使用量	kWh	2,570	2,875	89.4%	×
燃料使用量 ガソリン	L	2,754	2,740	100.5%	○
燃料使用量 軽油	L	8,619	4,918	175.3%	○
水使用量	m ³	138	101	136.6%	○
一般廃棄物	t	0.089	0.076	117.1%	○
産業廃棄物 排出量	t	180.333	148.490	121.4%	○
産業廃棄物 リサイクル率	%	95.0	100.0	105.3%	○
環境に配慮した施工の推進	件数	100%	100%	100%	○

四国電力 令和3年度調整後排出係数 0.445(kg-CO2/kWh)

評価

- ・ 今期は、1項目(電力使用量)において目標達成が出来なかった。
 - ・ 目標不達成の原因は、今夏の猛暑、冬の寒波によるエアコン使用率が上がったため。
 - ・ 今後も地球温暖化の関係で異常気象が起きる頻度が上がり、エアコン使用率も上昇すると思われるが、設定温度、効率の良い使用方法で削減努力を励行する。
 - ・ 二酸化炭素排出量と燃料使用量の絶対値は受注する工事の内容に左右されるが、アイドリングストップ、エコドライブ等を励行して引き続き削減努力を行う。
 - ・ 産業廃棄物排出量については、受注した工事内容に左右される事項なので量の多少に関わらず今後も適正に再生処理を行いリサイクルに努める。
 - ・ その他の項目については順調に目標達成出来ているが、工事量の増減に関わらず環境活動計画を適正運用していく。
- また、定められたルールに従って継続的改善に努めたい。

8. 環境経営計画の取組結果・評価及び次年度の取組内容

活 動 計 画	評 価				コ メ ン ト	
	1Q	2Q	3Q	4Q		
◎ 二酸化炭素排出量の削減						
電力 使用 量	・エアコンの温度管理 冷房：28℃ 暖房：20℃	○	○	○	○	猛暑日以外は取り組めた。
	・不要時の消灯	○	○	○	○	不要時の消灯に取り組めた。
	・不使用OA機器の電源オフ	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
燃料 使用 量	・エコドライブの励行	○	○	○	○	取組に対しほぼ励行できた。
	・アイドリングストップの励行	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・車両・重機の定期点検	○	○	○	○	特定自主検査の実施。
◎ 水使用量の削減						
	・こまめに蛇口をしめる	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・蛇口に節水表示のマーク	○	○	○	○	ステッカー貼り付け
	・洗車時には節水に心がける	○	○	○	○	シャワーヘッドのオンオフ使用で取り組み。
◎ 廃棄物の削減及び発生の抑制						
一 般 廃 棄 物	・ゴミ箱を設置して分別の徹底を行う	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・コピー用紙の裏面使用	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・ミスプリントの防止	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
産 業 廃 棄 物	・建設副産物の再生処理を推進する	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・再生材の分別徹底を行う	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
◎ グリーン購入の推進						
	・グリーン購入法適合商品を積極的に購入する	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
◎ 環境に配慮した施工の推進						
	・精度の高い事前計画を行う	○	○	○	○	取組に対し励行できた。
	・朝礼時に十分なコミュニケーションを交わす	○	○	○	○	毎日の朝礼にて実施。

総 括

今期間の成果としては、電力使用量以外で達成できた。

電力使用量の不達成の原因は、事務作業が増加したことに加え、異常気象による夏の猛暑、冬の寒波によりエアコン使用率が上がったためと思われるが、引き続き削減努力を励行する。

他の項目についても工事内容に左右されるところは大きいですが、今後も工事数量の増減に係わらず、削減及び発生の抑制の取組を励行していく。

次年度の取組内容

次年度の目標とする取組は、電力使用量の抑制と方法の検討を行う事とする。

今年度は、このまま現状を継続して環境システムを実施し結果を把握した上で、改めて次年度の取組内容の継続的改善箇所を具体的に検討する。

9-1. 次年度からの環境経営目標

中長期目標

事務所・現場

項目	単位	令和6年度 基準値 (実績)	令和7年度 目標削減率 1%	令和8年度 目標削減率 2%	令和9年度 目標削減率 3%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	20,381	20,177	19,973	19,770
電力使用量	kWh	2,875	2,846	2,818	2,789
燃料使用量 ガソリン	L	2,740	2,713	2,685	2,658
燃料使用量 軽油	L	4,918	4,869	4,820	4,770
水使用量	m ³	101	100	99	98
一般廃棄物	t	0.076	0.075	0.074	0.074
産業廃棄物 処分量	t	148.49	147.01	145.52	144.04
産業廃棄物 リサイクル率	%	95.0	95.0	95.0	95.0
環境に配慮した施工	工事件数	—	100%	100%	100%

※ 化学物質の使用は有りません四国電力 令和5年度実績調整後排出係数 0.464(kg-CO₂/kWh)

9-2. 次年度の環境経営計画

● 令和7年度 環境経営実施計画書(事務所・現場)

→ 実施期間

重要テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール									
			6年		令和7年							
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
【環境経営目標】	・二酸化炭素排出量の削減	社長	→									
	・水使用量の削減		→									
	・廃棄物の削減及び発生の抑制		→									
	・グリーン購入の推進		→									
	・環境に配慮した施工の推進		→									
【環境経営計画】	・夏場の冷房温度を27℃程度に設定する	事務所 現場							→			
①電力使用量の削減	・冬場の暖房温度を22℃程度に設定する		→									
	・不使用OA機器の電源オフ		→									
	・休憩時間の消灯の励行		→									
②燃料使用量の削減	・エコドライブの励行	事務所 現場	→									
	・アイドリングストップの励行		→									
	・車両・重機の定期点検		→									
	・エコモード使用、アクセル開度70%まで		→									
③水使用量の削減	・こまめに蛇口をしめる	事務所 現場	→									
	・蛇口に節水表示のマーク		→									
	・洗車時には、節水に心がける		→									
④一般廃棄物排出量の削減	・ゴミ箱を設置して分別の徹底を行う	事務所	→									
	・コピー用紙の裏紙を使用する		→									
⑤産業廃棄物のリサイクルの推進	・建設副産物の再生処理を推進する	現場	→									
	・再生材の分別徹底を行う		→									
⑥環境に配慮した施工を行う(ロスを削減する)	・精度の高い事前計画を行う	現場	→									
	・朝礼時に十分なコミュニケーションを交わす		→									

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認

※ この1年間該当しなかった場合は該当なしと記載

法令又は条例	適用される事項	遵守状況の確認	判定
廃棄物処理法	・一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分 の委託、管理票(マニフェスト)の運用	書類の確認 問題なし	遵守
労働安全衛生法	・解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業 (2) 所在地及び連絡先(本社及び倉庫) 含む)	書類の確認 問題なし	遵守
再生資源利用省令	・解体工事、土工事、外構工事 ・指定副産物:建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の利用	書類の確認 問題なし	遵守
建設リサイクル法	・解体工事-80m ² 以上・新築・増築工事-500m ² 以上・修繕・模様替工事-1億円以上・その他の 工作物に関する工事(土工事等)-500万円 以上 ・新築工事及び解体改修工事	書類の確認 問題なし	遵守
オフロード法	・ブルドーザ、クローラクレーン、くい打ち機、タワークレーン、ドリルジャンボなど ・協力会社の持ち込み建設機械など	重機の確認	遵守
フロン排出抑制法	・冷媒用フロンの回収・破壊の措置 ・機器の所有者(管理者)によるフロン漏えい点検(3か月に1回) ・解体工事(改修工事)	問題なし	遵守
建築基準法	・内装仕上げ・換気設備及び天井裏等の工事	該当なし	
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	・国土交通省直轄工事及び県工事(特記仕様書) ・協力会社の持ち込み建設機械など	書類の確認 問題なし	遵守
騒音規制法・振動規制法	・杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等 を使用する作業 ・特定建設作業・適用指定地域	該当なし	
浄化槽法	・指定検査機関による検査	書類の確認 問題なし	遵守
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	・国土交通省、農林水産省直轄工事 ・地盤改良工事	該当なし	
消防法	・少量危険物の取り扱い ・火気の使用	問題なし	遵守
地方自治体の各条例	・条例に従う	書類の確認 問題なし	遵守

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

令和6年12月20日
代表取締役 西條知之

● 取組期間（令和5年11月～令和6年10月）

	環境管理責任者の報告	環境管理責任者のコメント・提案	
見直しに必要な情報	【取組状況の評価結果】 ・ 法的要求事項の遵守状況 ・ 是正及び予防処置の状況 ・ 関連法規遵守 苦情・訴訟なし ・ 是正及び予防処置 未達成項目 ① 電力使用量の増加 問題点の是正／予防処置票 発行	【環境経営方針】 ① 二酸化炭素排出量の削減 今期は目標達成出来た。 ② 水使用量の削減 達成 今後も取組計画を励行する。 ③ 廃棄物の削減及び発生の抑制 達成 今後も削減努力を行う。 ④ 環境に配慮した施工の推進 環境に配慮した施工が出来た。	
	前回までの代表者の指示事項への対応 ① 全体的なシステムは前回目標良好であった。 ② 東南海地震の対応で独自BCPを運用中。		
	【目標の達成度】 ・ 今期間内では、概ね目標が達成出来たが電力使用量が未達成。 今後、更なる削減努力を実施する。		【目標】 今期は電力使用量以外の項目で目標達成出来たが、今後も取組計画を励行しすべての項目で削減努力を行う。
	【周囲の変化状況】 ・ 外部コミュニケーションとしてクレームは発生していない。 ・ 法的要求事項の動向は変わっていない。 ・ 地震等緊急事態への対策として独自のBCPを運用中。		【システムの各要素】 全体的に順調に推移しているので、この状態を維持し、更に努力して実施する。 東南海地震等、大規模な地震に対して独自のBCPを運用し有効活用出来る様に訓練・教育を行い自社のシステムとして定着させる。 現状を維持しながら、更なる改善を実施する。
	【改善の提案】 ・ 今期は電力使用量以外は順調に維持管理されている。		
変更の必要性の有無・指示事項	社 長（経営責任者）		
	【環境経営方針】 EA21の取組に当たり、環境経営方針等全社員に周知、認識させることにより、環境意識を高め、地球に優しい会社を目指し、発注者及び地域住民から信頼を得る。		
	変更の必要性 : 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
	【環境経営目標・環境経営計画】 今期間においては電力使用量の項目で達成出来なかった。 今後も工事量の増減、気象条件等により達成出来ない事も考えられるが、EA21の理念を常に意識した取組を全従業員で行い、全ての項目において目標達成・削減に努力していく。		
変更の必要性 : 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
【実施体制】 実施体制については対象が少人数のため問題なかった。 次年度についても今回同様の体制で環境に対する意識付けの向上を図る。			
変更の必要性 : 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			

12. 環境保全活動の紹介

ボランティア活動（四国遍路みち清掃活動）
令和 6年10月25日

